

「知的財産権とビジネスモデル」 最終課題について

スケジュール

12/27(火) 授業休講、最終課題プレゼン資料提出締め切り

1/10(火) 最終プレゼンテーション通過者10名 結果発表

1/14(土) *補講 最終プレゼンテーション通過者10名 学内プレゼン
(1月中にDTP株式会社[赤坂]にて社長プレゼン)

1/17(火) 授業最終回 「SFCのメイカー、そして学生ベンチャー」


近藤奈央&田岡菜 (Tribots)、大谷太郎(Yokoito)、連勇太郎(モクチン)
徳島泰(SHCデザイン)、その他

最終プレゼンテーション

12/27 23:59までにSFC-SFSにPDFで提出


フォーマット

- ・美しくデザインされたビジネス・プレゼン用 PDF 10ページ
- ・「見やすいスライド3原則」は必ず守ること
- ・さらに突っ込んだ美しいスライドのつくりかたと、盛り込むべき内容は12/20の講義(水野大二郎先生)を参考




山中俊治 Shunji Yamanaka

@Yam_eye

 Following

1) フォントは2種類まで
2) 文字サイズは3種類まで
3) むやみに色を使わない
の「見やすいスライド3原則」が守られた、大変珍しい官公庁スライドはこちらです。

「ファブ社会」の展望に関する検討会 報告書要旨
soumu.go.jp/main_content/0...


 View translation

RETWEETS





255

LIKES

785



8:24 PM - 6 Jul 2014

 1  255  785 

最終プレゼンテーション

12/27 23:59までにSFC-SFSにPDFで提出

内容

ファブ社会における自分のビジネスモデルを、次ページからのべる6つの項目すべてに必ず立脚して提案すること。これらはすべて、ゲスト講義に共通していた視点です。

1. 社会課題と紐づいていること（各ゲスト講義を参考）

良くマスメディアで言われているような、ぼやっとした一般的な社会課題ではなく、ある固有の現場や社会状況において、その人が独自の視点で「発見」し、さらにその問題の「本質」を掘り下げた、真の意味の、現場発の固有の「課題」の特定と定義。

ここでは特に自分の視点”だけ”ではなく、社会の視点を考えます。

2. テクノロジーによる斬新なアプローチや創造性と結びついていること (田中浩也回を参考)

ファブ・テクノロジーの肝は、広い意味で「情報空間」と「物理空間」の接続にあることを踏まえよう。
ただし、狭い意味のデジタルファブリケーション(3Dプリンタなどのデジタル製造技術)には限らなくてもよい。

3. 広い意味での『新しいデザイナー的能力』を駆使して提案をつくっていること
(水野大二郎回・岩寄博論回を参考)

- ・複雑でやっかいな問題の解きほぐしと整理
- ・メイカー側とユーザー側双方の関係の再調整、再バランス

4. 社会制度や法制度などの「ハードル」が残ることは、問題ではなく、むしろ好ましい。

(渡辺智暁・水野祐回を参考)

制度や法律の問題とぶつかるというのは、その提案が真に社会に対してラディカルであることの証でもある。その法律が古く、すでに時代とあわなくなっているのかもしれない。そして、それを一緒に乗り越えていこうという社会学者や法学者も育ってきている。

5. チーム編成の重要性 (本日の授業)

自分が何のコアスキルを持っていて、何のスキルを持っていないかを考える必要があります。
どんなスキルを持った人材がいるとそのプロジェクトが実現するのか、
その人をどうやって勧誘するのかなどを考えて、明記してください。

6. 何にお金を払ってもらえるのか？

(本日の授業)

本授業ではソーシャルベンチャー（社会企業）的要素を含んでいますから、単に大きく儲かる案件を評価する、ということではありませんが（DeNA事件なども考慮に入れましょう）、単に「CSRに期待してます」「国・行政の補助金で」で終わって思考停止にならないよう工夫してもらいたいです。

お金を払ってもらうには価値を提供しなければならないので、その価値がなんなのかをじっくり考える機会になります。

だいたい、みなさん、「お金を払う側」になると誰もが渋くなりますよね？

ビジネスモデルを描く側になると急に、「みんなお金を払ってくれる」という前提で夢物語を語り始めますが、「払う側の立場」の気持ちをよく考えれば、そんなに簡単ではないことはすぐにわかるのではないのでしょうか。よっぽどでない人はお金を払わないものです。